

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.239)

1. 豊田PCB処理事業部会を開催

2月21日(水)に令和5年度第2回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 豊田PCB処理事業部会」をweb会議で開催しました。

当事業所の操業状況は、事業部会のご指導のおかげもあり、1月19日に最後のPCB廃棄物を受入れ、3月末までに当事業所でのPCB廃棄物処理を全て完了するよう進めていることを報告しました。

また、570日以上事故やトラブルが発生していないこと、令和5年の環境モニタリング結果も問題なかったことなどを報告しました。



次に、解体撤去工事の状況として、昨年7月に着手したコンデンサー自動解体ラインの解体撤去工事が順調に進んでいることを報告し、今後の解体撤去工事を着実に進めるための計画(案)について説明しました。

委員からは、「解体撤去工事から出るPCBが付着した解体物は、どのように処理を行うのか。」などの質問がありました。「高濃度PCBが付着した解体物は、当事業所の洗浄設備で洗浄し、無害化処理を行います。一方、低濃度PCBが付着した解体物は、民間の低濃度PCB無害化処理認定施設等に委託して効率的に処理を行います。このため、当事業所の洗浄設備などPCB無害化処理に必要な設備は、令和7年度末までの稼働を予定しています。4月からは、施設の解体撤去に専念し、安全第一で計画的に工事を進めていきます。」などとお答えしました。

2. 交通安全講習を実施しました



当事業所では、交通安全の意識を高め日々の実践につなげるため、交通安全講習を毎年2月に実施しています。

今年は、自分自身の性格などの運転適性を把握して、安全運転に活かす運転適性検査を中心に交通安全講習を行いました。

始めに、動作の正確さなどの運転行動の安定性、情緒の安定性や攻撃性、協調性などの精神的安定性を測る検査を行いました。

検査結果は後日、安全運転アドバイスとしての所見が本人にフィードバックされます。

続いて、交通事故事例をもとに、人の心理や判断、知覚などには特性があること、小さな事故であっても警察に報告する義務があること、自転車事故ではヘルメット着用の有無で、今後は保険の補償額に差が生ずる可能性があることなどを学びました。

3. 毎月21日は安全の日

平成19年2月から毎月21日を『安全の日』として定め、常に安全を最優先にということをお願い起す日として、JESCOと運転会社全員での安全推進活動を行っています。

* 21日が休日等の場合は、日にちを繰り上げて行います。

1月19日(金)の安全集会では、事業所長から「最後の搬入日を迎えることができた、3月までに安全で確実な処理をお願いします」。また、運転会社社長から「健康に留意して、全ての営業物処理の安全な処理完了を」。いずれも、残りわずかとなったPCB廃棄物処理の安全操業に向けての訓示がありました。

最後に全員で、「ゼロ災で行こう、ヨシ!」と、指差し呼称を行って安全を誓いました。



また、安全の日は、施設内の安全パトロールを実施しています。

安全に作業が行われているか、トラブルにつながるような危険な個所がないか、所内のルールは守られているか、整理整頓や清掃ができているかなどをチェックしています。

今回の安全パトロールでは、安全上特に問題がないことを確認しました。

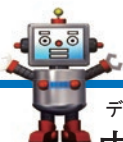
4. 施設見学がありました

2月16日に、当事業所でPCB廃棄物の処理を行った山口県の企業の方3名が、2月20日には愛知県内の一般の方2名が、それぞれ施設見学で来所されました。

PCB廃棄物の処理工程に沿って設備をご覧いただき、とても熱心に見学されました。

3月末でPCB廃棄物の処理事業は終了しますが、今後も可能な範囲で施設見学を受入れさせていただきます。

ご希望の方は、下記「問合せ先」豊田PCB処理事業所総務課までご連絡ください。



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>